

聲明書

非國家的、功利主義に盲か、個人的利慾の爲めには、國
體の尊嚴すらも敢て蹂躪しし者を見ざる郵船會社と階級
の亡國的暴徒に痛憤し、國體明徴の徹底を期して敢て
して敢て起せる明朝會、同志諸君の爲目の社學に對して
は我等は萬勝の敬意を表出するものなり。我等は此の
数年來、會社と階級の亡國的逸脱は、憤激し、之あるの目
遣人が聖職と馳せ、参ずるの決意を抱藏し、之を今日に至る
而して今や待望の機は到り、遂に乍ら我平安丸は之と時
を同じうして、たましく彼女皇同胞の殿下が英國皇陛下に
御是命に請せり、日本國民として、將又、日幸能員として、唯か此の
無上の光榮に感激せざる者ありんや。
而して此の光榮に堪せざる我等は、西殿下之御目的地上を去る
御送り甲上へ、是は如何なる事情あるも、一切を擧げ、之を